

総合英語 A III

科目責任者 飯塚 秀樹
 学年・学期 1 学年・3 学期

I. 前 文

英語で情報収集を行い、適切な英語表現を行うことは、医師にとって重要なスキルの一つである。本講義では、学期ごとに異なるテーマで英語を総合的に学び、英語の論理展開やプレゼンテーションスキルなどを修得する。

II. 担当教員

William Hassett

Chris Smith

Peter Mbiru

III. 一般学習目標

本講義では、学期ごとに異なる3つのテーマで学習を行う。

- ・ TOEFL Intensive では、英語圏の大学で使われる講義や学生生活についての英語表現を学習する。
- ・ Communicative English では、英語で意思疎通を行うための会話表現や英語圏の文化について学習する。
- ・ Presentation では、プレゼンテーションを行う時の英語表現やマナーについて学習する。

IV. 学修の到達目標

- 1) 英語圏の大学で使われる講義や学生生活に関する英語表現を身に付ける。
- 2) 日常会話表現を身に付ける。
- 3) プレゼンテーションスキルを身に付ける。

V. 授業計画及び方法 * () 内はアクティブラーニングの番号と種類

(1 : 反転授業の要素を含む授業 (知識習得の要素を教室外で済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態。))

2 : ディスカッション, デイバート 3 : グループワーク 4 : 実習, フィールドワーク 5 : プレゼンテーション

6 : その他)

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担 当 者	アクティブ ラーニング
1	10	17	金	2	Podcast (Wishes)	William Hassett Chris Smith Peter Mbiru	1,2,3,5
2		17	金	3	Podcast (Wishes)	William Hassett Chris Smith Peter Mbiru	1,2,3,5
3		24	金	2	Podcast (Specific Information)	William Hassett Chris Smith Peter Mbiru	1,2,3,5
4		24	金	3	Podcast (Specific Information)	William Hassett Chris Smith Peter Mbiru	1,2,3,5
5		31	金	2	Magazine-Writing	William Hassett Chris Smith Peter Mbiru	1,2,3,5
6		31	金	3	Magazine-Writing	William Hassett Chris Smith Peter Mbiru	1,2,3,5

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担 当 者	アクティブ ラーニング
7	11	7	金	2	Magazine-Writing	William Hassett Chris Smith Peter Mbiru	1,2,3,5
8		7	金	3	Magazine-Writing	William Hassett Chris Smith Peter Mbiru	1,2,3,5
9		14	金	2	TOEFL Review-Listening	William Hassett Chris Smith Peter Mbiru	1,2,3,5
10		14	金	3	TOEFL Review-Listening	William Hassett Chris Smith Peter Mbiru	1,2,3,5
11		21	金	2	TOEFL Review-Reading	William Hassett Chris Smith Peter Mbiru	1,2,3,5
12		21	金	3	TOEFL Review-Reading	William Hassett Chris Smith Peter Mbiru	1,2,3,5
13		28	金	2	Progress Test	William Hassett Chris Smith Peter Mbiru	1,2,3,5
14		28	金	3	Progress Test	William Hassett Chris Smith Peter Mbiru	1,2,3,5

VI. 評価基準（成績評価の方法・基準）

Semester3

Evaluation:Attendance=10%

(4) Class tasks=40%

TOEFL Practice Test=50%

VII. 教科書・参考図書・AV資料

各担当教員に確認すること。

VIII. 質問への対応方法

基本的には随時受け付ける。

IX. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

*◎：最も重点を置く DP ○：重点を置く DP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）		
医学知識	人体の構造と機能，種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い，他者に説明することができる。	
	種々の疾患の診断や治療，予防について原理や特徴を含めて理解し，他者に説明することができる。	
臨床能力	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け，正しく実践することができる。	
	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	
プロフェッショナリズム	医師としての良識と倫理観を身に付け，患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	
	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け，患者やその家族，あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	
能動的学修能力	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	
	書籍や種々の資料，情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し，自らの学修に活用することができる。	
リサーチ・マインド	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち，専門的議論に参加することができる。	
	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち，実践することができる。	
社会的視野	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し，自らの行動に反映させることができる。	
	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け，自らの行動に反映させることができる。	◎
人間性	医師に求められる幅広い教養を身に付け，他者との関係においてそれを活かすことができる。	
	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け，他者との関係においてそれを活かすことができる。	

X. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

定期試験，TOEFLテスト，および出席状況・授業態度をもとに決める。

XI. 求められる事前学習，事後学習およびそれに必要な時間

各担当教員に確認すること。

XII. コアカリ記号・番号

SO-05-02-01 国際的に取り組む必要のある医療・健康課題について，歴史・社会的背景を踏まえて，概要を理解している。

SO-06-01-03 個や集団に及ぼす文化・慣習による影響（コミュニケーションの在り方等）を理解している。